

2/9/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2000 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04725132 **Image available**

ELECTRODELESS ELECTRIC-DISCHARGE LAMP DEVICE

PUB. NO.: 06-196132 [JP 6196132 A]

PUBLISHED: July 15, 1994 (19940715)

INVENTOR(s): OKADA ATSUNORI

WADA SEIGO

UKEKAWA MAKOTO

TOSAKA SHINGO

KOTANI MIKI

SUMITOMO TAKU

SAIMI MOTOHIRO

APPLICANT(s): MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD [000583] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 04-344962 [JP 92344962]

FILED: December 25, 1992 (19921225)

INTL CLASS: [5] H01J-065/04

JAPIO CLASS: 43.4 (ELECTRIC POWER -- Applications)

JAPIO KEYWORD:R004 (PLASMA)

ABSTRACT

PURPOSE: To drastically improve emission efficiency, and to achieve long life cycle by mitigating devitrification phenomenon.

CONSTITUTION: An induction coil 2 wound around the outer peripheral wall of an emission tube 1 made of a material having translucent property such as quartz and the like, is electrified by high frequency current, and a high frequency magnetic field formed on the inside of the induction coil 2 is made to act on a discharging gas and an light-emitting substance, which are sealed in the emission tube 1. The emission tube 1 is so arranged that the rotary shaft E of the emission tube 1 crosses perpendicularly a winding shaft D-D' of the induction coil 2, so as to rotate the emission tube 1, in an electrodeless electric-discharging lamp device for energizing and emitting the emission substance.

?

整理番号 ~~MCS~~9411

発送番号 000575

発送日 平成12年 1月11日 1 / 3

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成 6年 特許願 第196132号
起案日	平成11年12月21日
特許庁審査官	大宅 郁治 8829 4C00
特許出願人代理人	大橋 邦彦 (外 1名) 殿
適用条文	第29条柱書、第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出されたい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、下記の点で特許法第29条第1項柱書に規定する要件を満たしていないので、特許を受けることができない。

記

請求項31～34に係る発明は、人間を治療する方法を包含するものである。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～30、35～37
- ・引用文献等 1及び2
- ・備考 引用文献1及び2には、囊状物と熱可塑性ポリマー及び水溶性有続薬有

続 葉

機溶媒の混合物を含む内容物からなるインプラント及びその製造方法、使用方法が記載されている。

3. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～30、35～37
- ・引用文献等 1及び2
- ・備考 引用文献1又は2に記載された材料を変更することは、当業者であれば格別の創意を要することとは認められない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特表平5-504941号公報
2. 欧州特許第539751号明細書

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第6版 A61L27/00
- ・先行技術文献 特表平5-504941号公報
特開平5-305135号公報
米国特許第5368859号明細書

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

続葉有

発送番号 000575

3 / 3

※ 売 葉

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

審査第四部 医療 大宅 郁治

TEL. 03(3581)1101 内線3452